

一般

段級

〔奥の細道〕
 まだまだ道のりは長いのにこんな病など起きて先が思いやられるが、はるか異郷の旅に向かうにあたり、わが身はすでに捨てたつもりだ。人生ははかないものだし、旅の途上で死んでもそれは天命だ。

遙はるかなる行ゆく末すえをかゝえて、斯かる病やまい、覓み束たづなが
 といへど、羈かり旅りよ、辺へん土どの行あん脚あし、捨し身やしん、無む常じょうの
 観かん念ねん、道みち路ぢにしたん、是これ天てんの命いのちなりと

